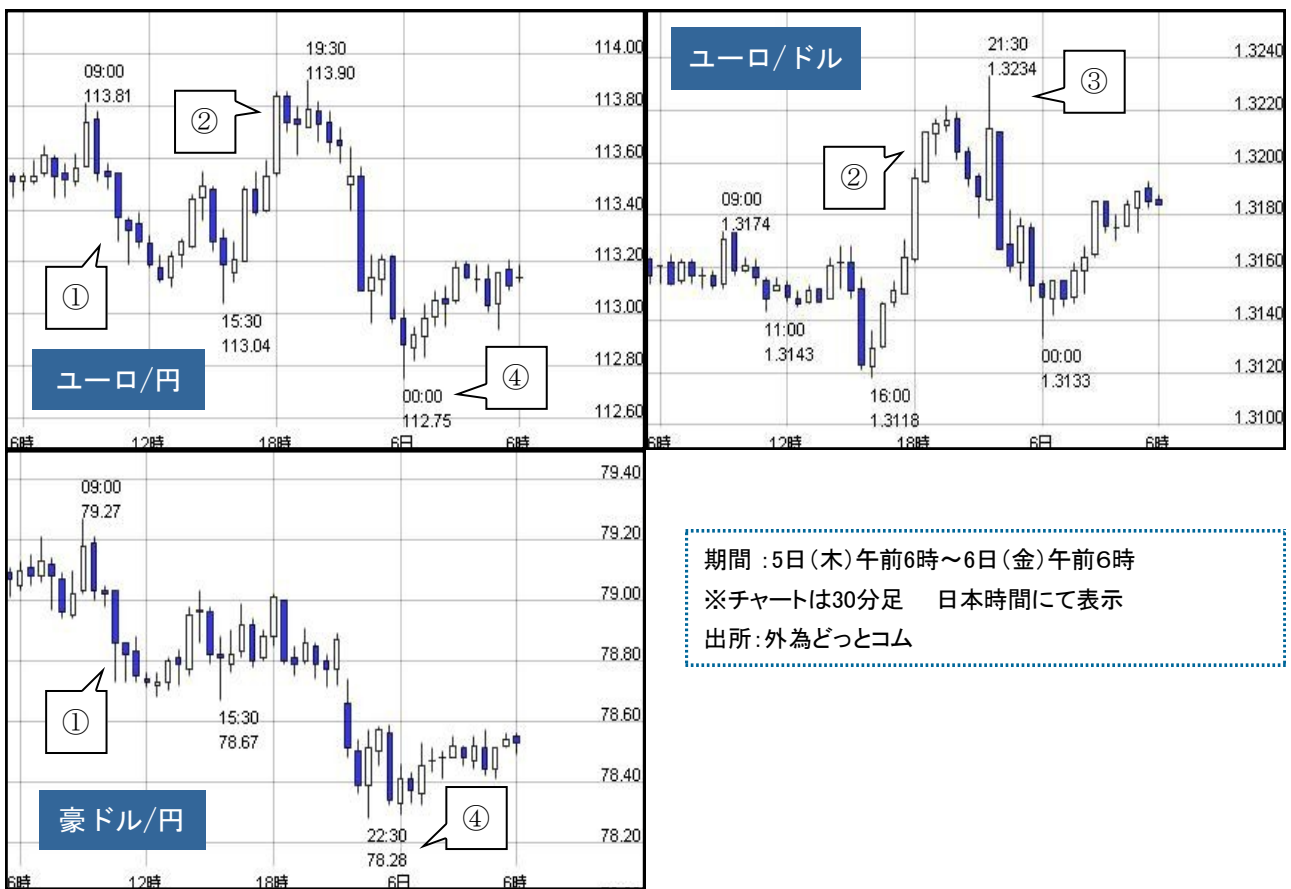


8月6日(金曜日)

ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## 期待と不安が入り混じる米雇用統計

### 5日(木)の主な推移



期間 : 5日(木)午前6時~6日(金)午前6時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所: 外為どっとコム

- ① 前日の米7月ADP全国雇用者数や7月ISM非製造業景況指数が予想を上回る改善を見せたことで、米国景気の先行きに対する懸念がやや後退しており、この流れを受けて日経平均株価が前日比200円近く上昇すると、ユーロや豪ドルがドルや円に対して上昇した。しかし、その後日経平均株価が上げ幅を縮小するとユーロや豪ドルは売り優勢の展開となった。
- ② スペインの国債入札を無難に終えた事や、国際通貨基金(IMF)が、ギリシャに関する月次評価で「ギリシャの改革への取り組みは良いスタートを切った」などの見解を示した事が好感されユーロ買いが優勢となると、ユーロ/ドルは1.32ドル台を回復、ユーロ/円は113.90円の高値を付けた。
- ③ 米8/1までの週の新規失業保険申請件数は47.9万件と、事前予想の45.5万件を上回る弱い結果となったことを受けて、米雇用市場への懸念が再燃しドルを売る動きが強まるとユーロ/ドルは1.3234ドルの高値を付けた。
- ④ 米雇用市場への懸念からNYダウ平均が下落して始まった事を受けてリスク回避の円買いが強まると、豪ドル/円は78.28円、ユーロ/円は112.75円の安値を付けた。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3050-1.3280ドル  
ユーロ/円: 112.20-114.20円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.30-79.50円

本日の注目は何と言っても米7月雇用統計であろう。4日に発表されたADP全国雇用者数は4.2万人増と予想を上回る増加幅となったが、昨日発表された新規失業保険申請件数は悪化(増加)しており、米国の雇用環境については期待と不安が入り混じる中での発表となる。今回も国勢調査に伴う臨時雇用の終了という特殊要因から、民間部門雇用者数が焦点となるが、予想以上の増加となれば、ドル高・ユーロ安が予想され、予想を下回る結果となれば、ユーロ高・ドル安が予想される。ユーロ/円に関しては、雇用統計の結果を受けたNY株価の動向がカギになるだろう。(神田)

本日発表される米7月雇用統計の結果が当面の豪ドル/円相場の方向性を左右する事になりそうだ。雇用の改善を受けて、米国景気の減速懸念が後退すれば、積極的にリスクを取る機運が高まり、株高・豪ドル高が見込まれる一方で、雇用の悪化が米国景気減速懸念につながれば、株安・豪ドル安が見込まれる。昨日の米新規失業保険申請件数の結果を受けて、米雇用統計への不安が台頭しており、アジア市場の株価の上値は重くなりそうで、日中の取引では、豪ドル/円がやや弱含みとなる可能性もある。(神田)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/6(金)	19:00		(独) 6月鉱工業生産 [前月比]	+2.6%	+0.5%
	21:30	◎	(米) 7月非農業部門雇用者数	-12.5万人	-6.5万人
	21:30	◎	(米) 7月民間部門雇用者数	+8.3万人	+9.0万人
	21:30	◎	(米) 7月失業率	9.5%	9.6%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。